



東日記

九編

万亭應賀作
孟齋好寅画

錦橋堂
壽梓

~13
3906
5

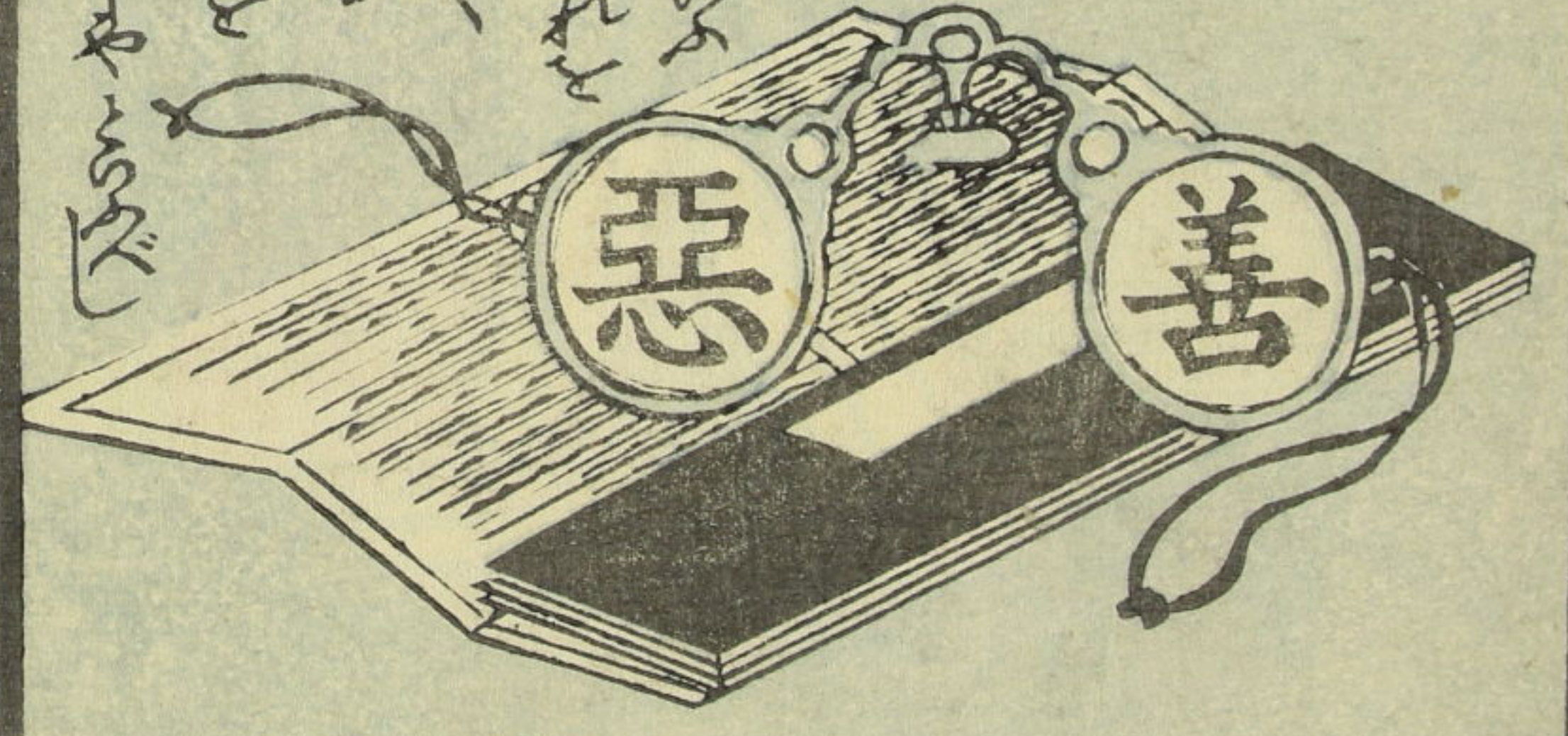




13
3906
5

重寶記
日小善悪を

○正月より六月まで七月より十月までを三
 一四五六と定てその月の一日より九日めくを
 不成就日といひてをんトふ忌日又ある
 書み四日十日十日廿五日この日、暮六時より
 夜の九ツ時までを忌。八日十五日廿日廿九日この日、
 明六ツ時より昼九ツ時までをいひてふ忌日といふ
 あり此外ゆ日等の違ひる忌日あればそれ
 つもく擇びていむと一日たりともたせ
 うごころあつて日小善悪はしそのま
 してふ善悪あつたて悪日といふもせん
 まれば良日ありとふ心のまるとあるとちよと



御所奉公東日記九編 (十六)

夫史を著者の心得の第一とある、善人を善人と悪人を悪人として其道を
 違ひて譬善人を悪めし悪人を善めしと終る、其善を善し明
 い悪、其悪をいふ、むとあり、その冊子とある、人悪を表し、善
 あり、い所謂松王丸が忠義善を表し、悪あり、の国性命の天
 茲に不合する、戯場の朝比奈あり、此男、鎌倉一人の美男と称せ
 長髪此の男み拵へ野暮正札附の卑劣のセリフあり、侍所の別當
 の息小、似合る形あり、その名、躰を著とのいふ、田夫、小
 平作久作の名自然と備實義秀、此男、其分限、應ト可
 意、い、恐る、大和あり、とも毒味を賣とあり、流行とも無益
 の双紙、著まるとあり、と序を抄、門人の示、い

安政六己未歲初春新刻 万享應賀誌



御書
 法内人ノ體
 ねんしき
 名ゆい
 美英
 朝日
 松島

松島
 上
 島
 膺



實
 秀へ
 朝
 朝
 計
 松島
 一身
 迫る

表使
 茨
 木

賤



甘き
 甘き
 甘き

おのれは
 おのれは
 おのれは

おのれは
 おのれは
 おのれは

おのれは
 おのれは
 おのれは

歌



おのれは
 おのれは
 おのれは

おのれは
 おのれは
 おのれは

おのれは
 おのれは
 おのれは

おのれは
 おのれは
 おのれは



己未春錦橋堂新板

應賀作

ついでに... 中... 御... 能...

好寅画



下巻へ... 寅...

御藥 固齋散 大包代百銅 小包代三銅 能一血り...

寝小便大奇薬 一包代三百銅

美玉百人一首 中本形全二冊 女用文章入

紅梅百人一首 半紙本全一冊 女用文章入

源氏一猛圖會 全同撰 冊同

雛鶴笹湯壽 紅摺 山東菴京山作 一冊 一陽齋豊國画

女南文玉手箱 中本形 全冊 山東菴京山作

庄 錦繪月屋 山田屋庄次郎 江戸南傳馬町子目

万亭應賀作

孟齋好寅画

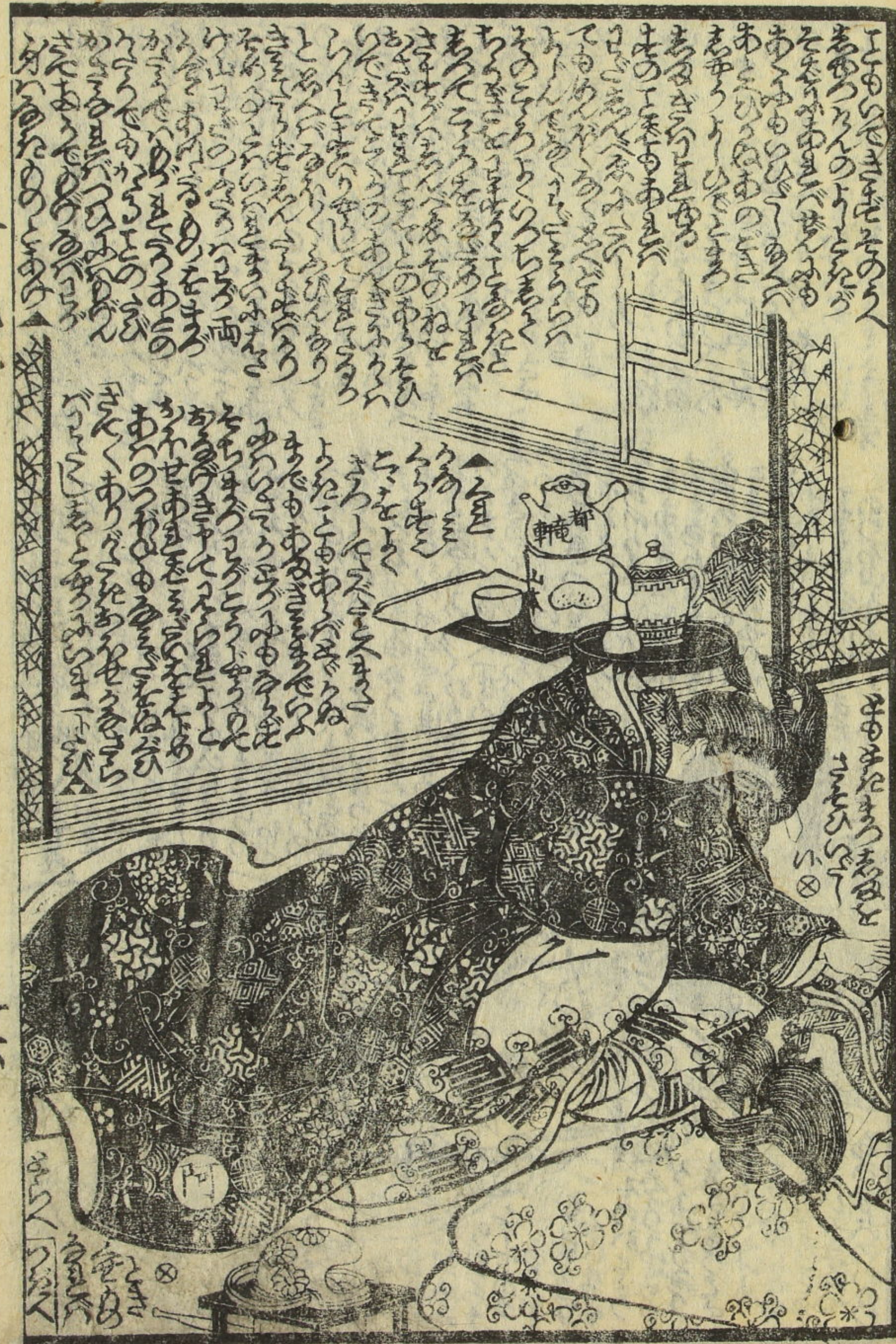


下

錦橋堂梓







十一
 十二

十三

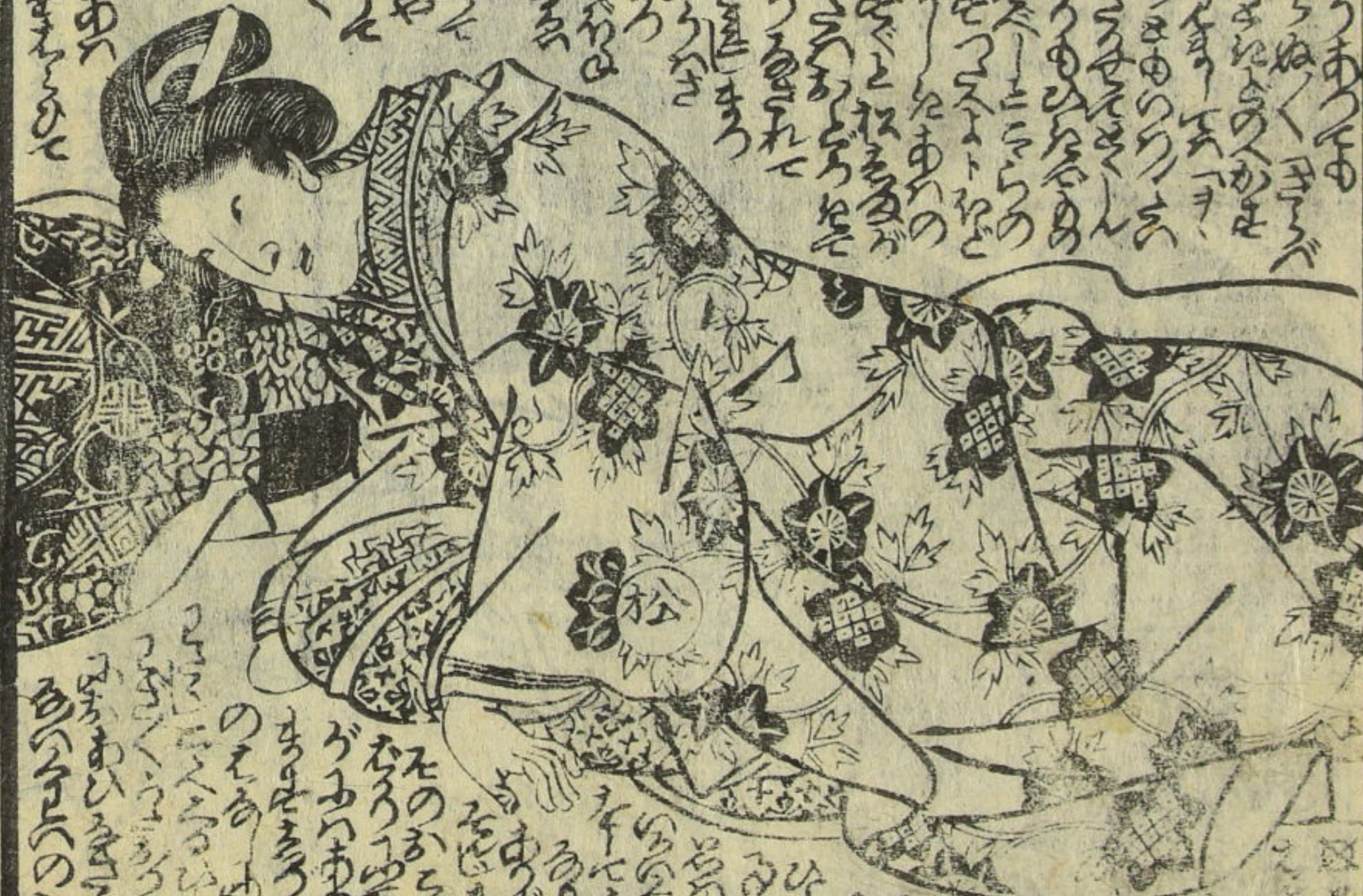
十四

十五

Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a list of items, surrounding the illustration of the two women. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the figures.

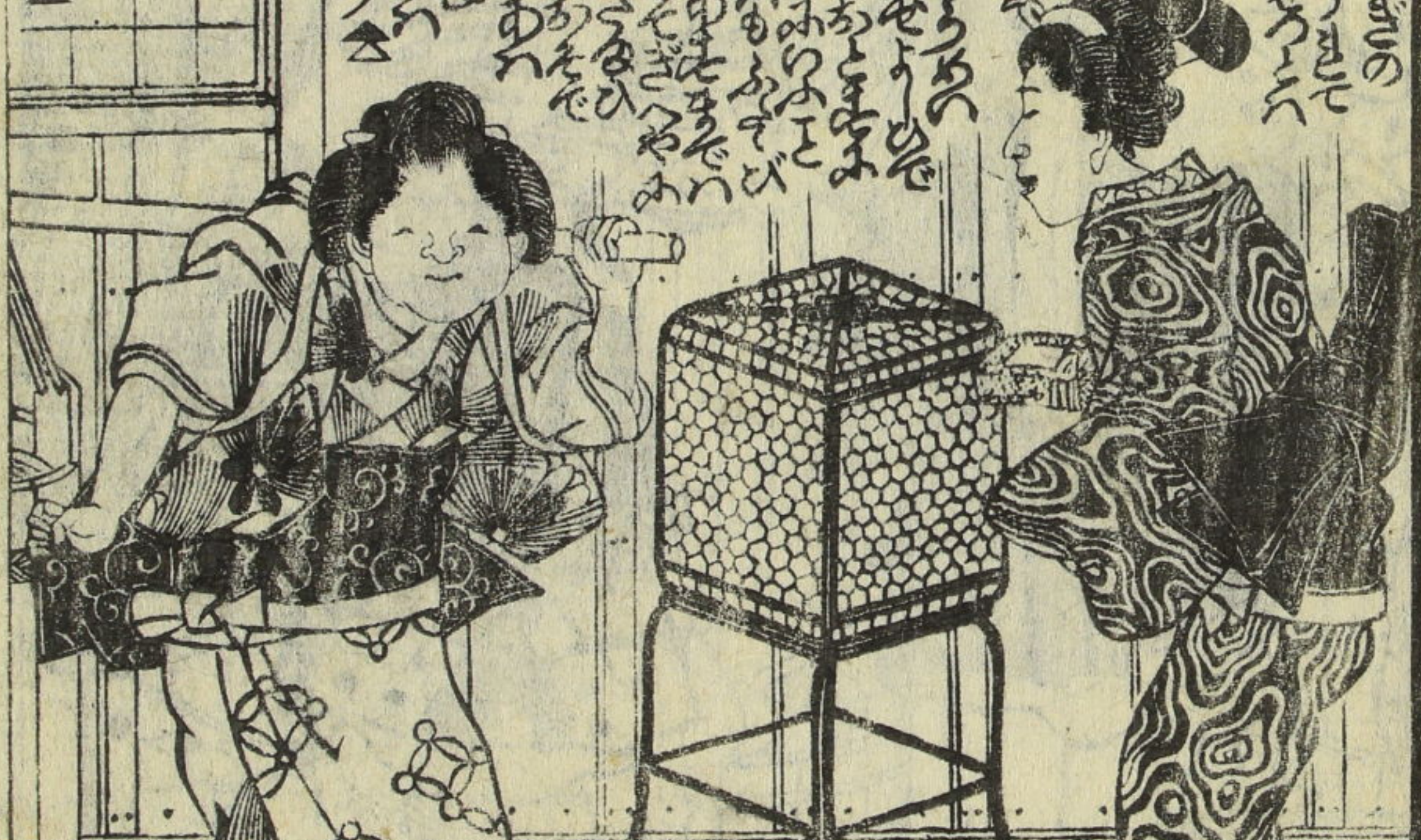


Handwritten text in a cursive style, continuing the commentary or list of items, surrounding the illustration of the woman in the kimono. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the figure.



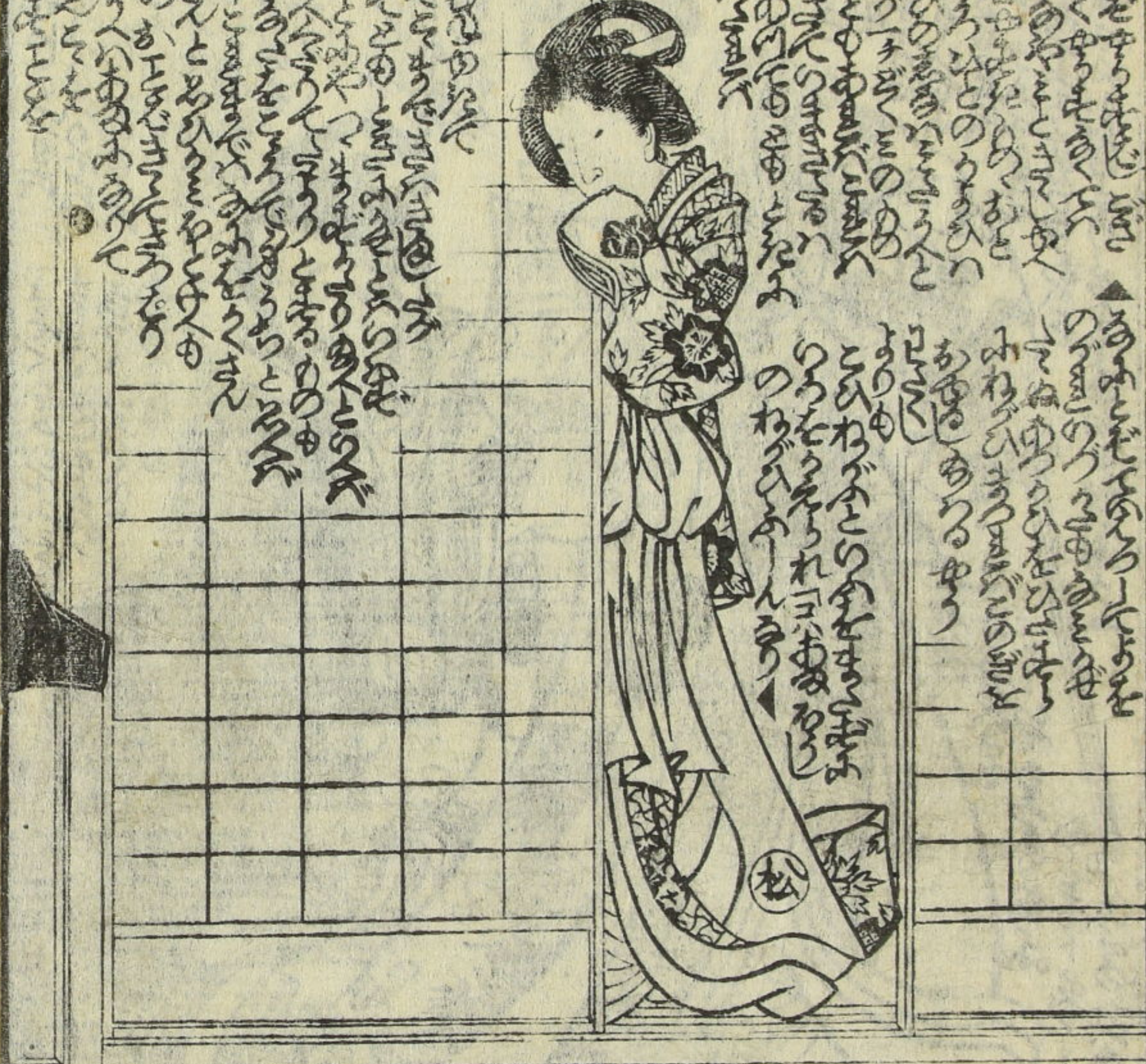
Handwritten text in the top left corner of the left page, consisting of several lines of cursive Japanese characters.

Handwritten text in the top middle section of the left page, continuing the cursive script.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page, below the illustration.

Handwritten text in the top left corner of the right page, continuing the cursive script.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, below the illustration.

己未初春錦橋堂新板目錄

万亭應賀作

教草女房形氣

十九編 山東菴京山作
二十編 梅蝶樓國貞画

利翁平深紫

十九編 金水作
二十編 國貞画

吾三驛

初編 雪任作
六編 芳虎画

舟所 舟日紀

九編 万亭應賀作
十編 孟齋好寅画

宮城野 欵討白石咄

全 孟齋作
二冊 好寅画

伊賀越欵討物語

無病 養生手引草

全 孟齋作
二冊 好寅画

造紫櫻最紙

長壽

全 孟齋作
二冊 好寅画

庄 山田屋庄次郎



猛齋好寅画

東照

二

東日記十編

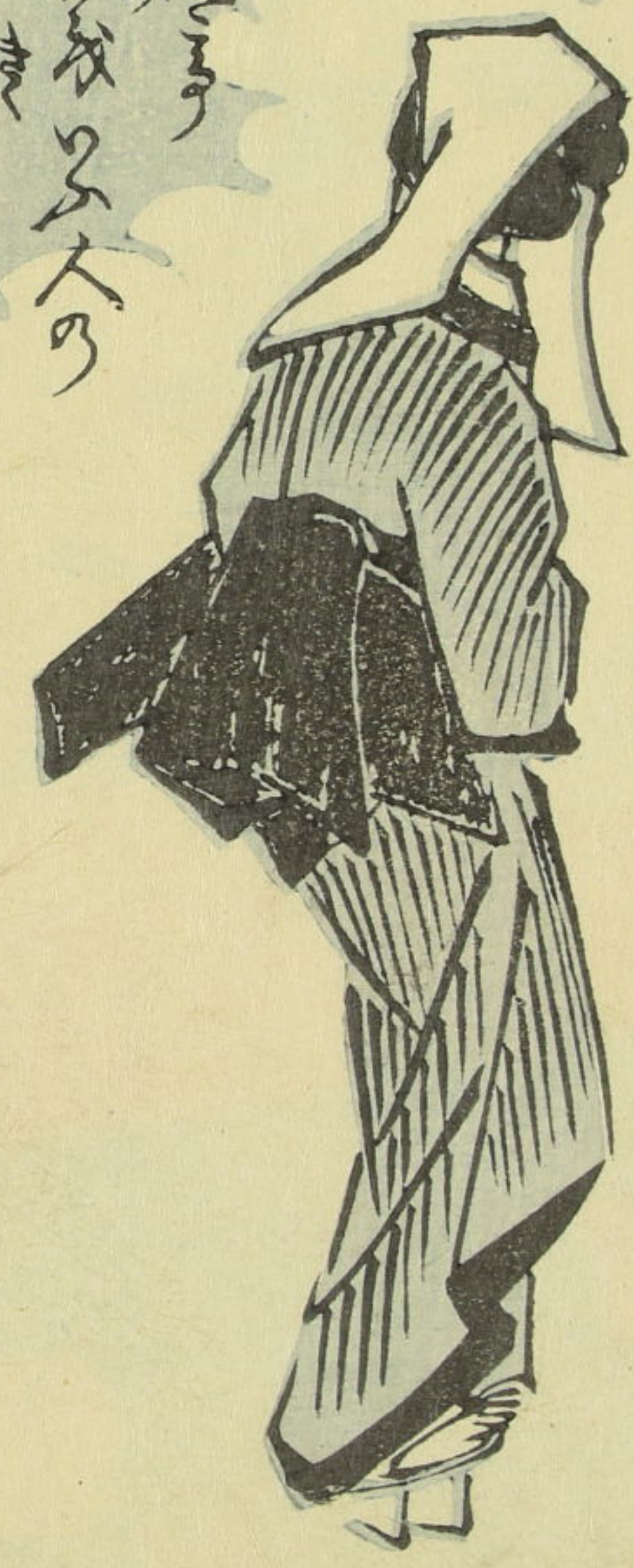


上



重寶記
辻占の聞様

○辻占我夢んと
思ひて四辻千
まゝり要り
能我之金ん唱えま



唯めまの物我の人の
えめおのりまをせむ
物我のまぬ人らあそり入まぶ
「めはせやよはの
うらまのりはさ
うらまのりえ
辻占の神

御所奉公東日記十編序

鎌倉三代之執權北條義時ハ依怙非道の佞士を
も上小政子の縁者ゆればのめにして我意を募らまれど
時として阿佞の臣多かれ其叛勢雲向ふ龍の△の紋と輝
し諸士の別當和田義盛ハ忠臣無二の士なれども其政道と
更み行まはる却て害と需め心み欲ある幸甚ハ曾て⊖の門を
出ぬ此天哉命哉忠を基とせし和田合戦も終小叛の名
を採と称嘆まふ猶余りゆる處也

干時安政六巳未其稿成
同七庚申歲初春新刻

万亭應賀識





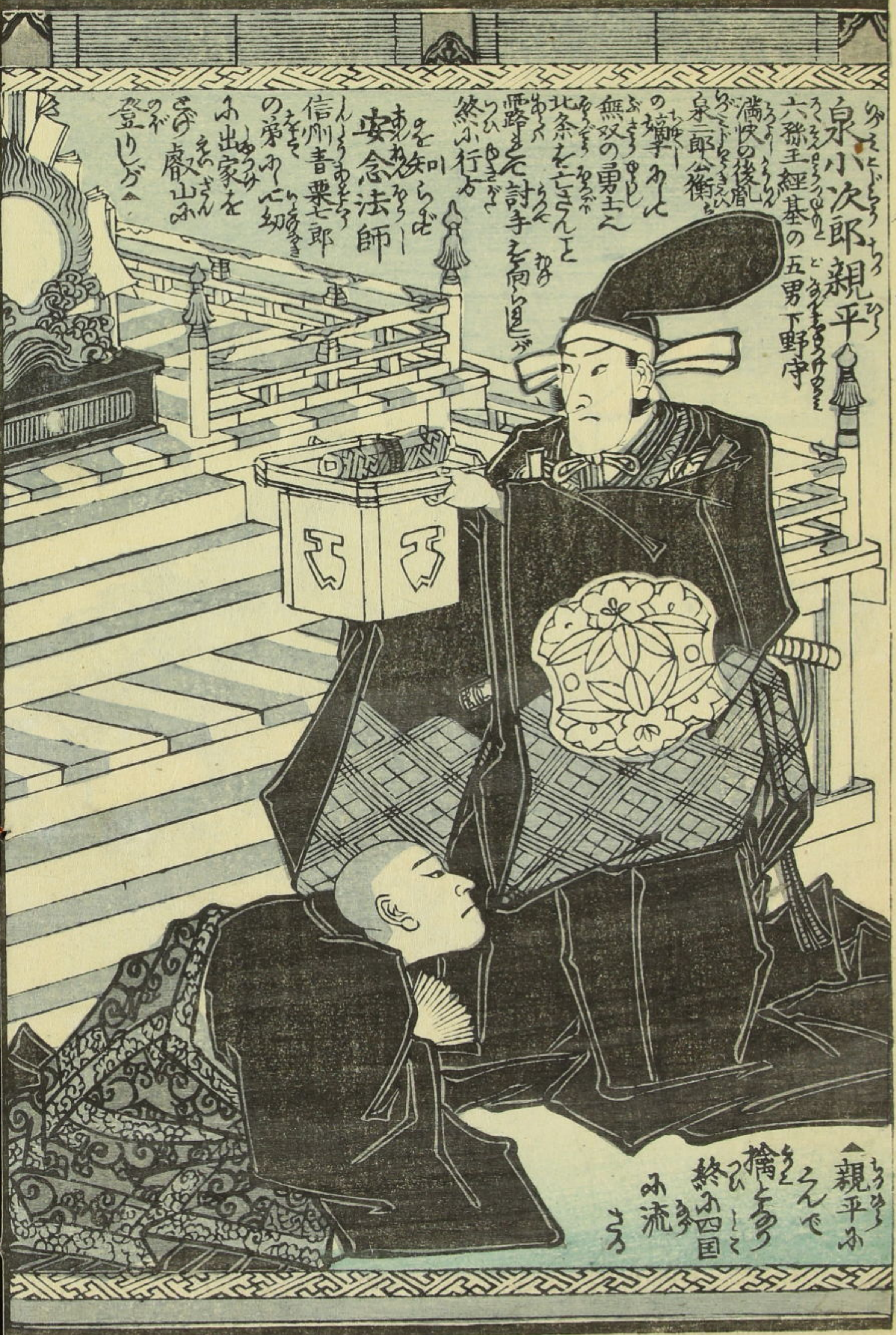
そめしつ
せおも
君ワ
先乃
あぢ

再生
松島



非情の松島局
長谷寺小再生
あまきし

義秀の慈母
巴女



泉小次郎親平
六孫王經基の五男下野守
満快の後裔
泉郎公衛
の嫡子
無双の勇士
北条を亡さんと
露路を討手之南の道
然小行方
安念法師
信州善業七郎
の弟心切
小出家を
登りか
の敵山ふ

親平
えんて
橋と多
終小四目
小流

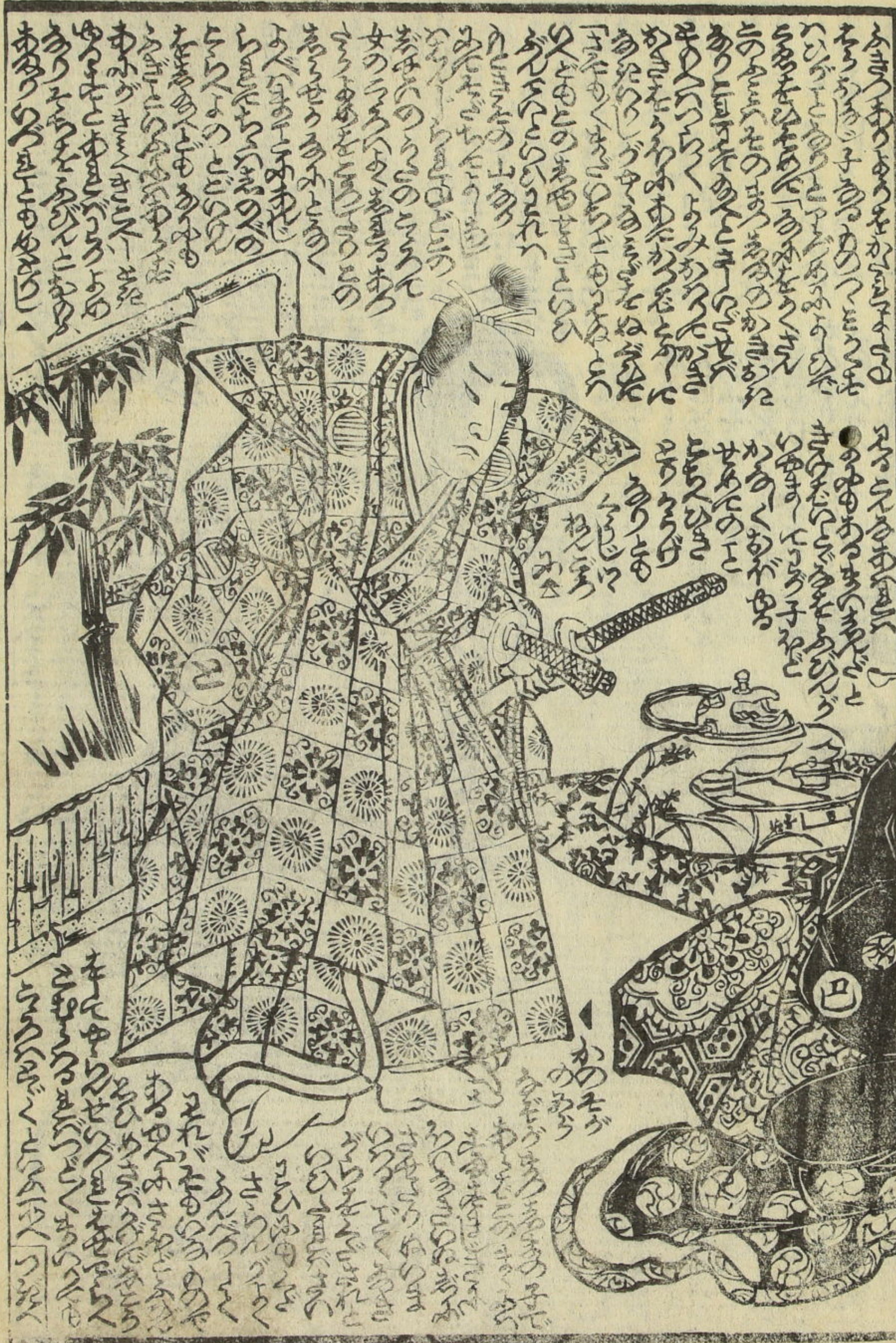


和小平太胤長
和里工門尉平義盛末の弟
義長の子多伊東
崎の洞み入て大蛇を
古郡新左衛門尉保忠
義盛
の親
族を
技を
の勇
者
は
義時を
義時を

義時を
義時を

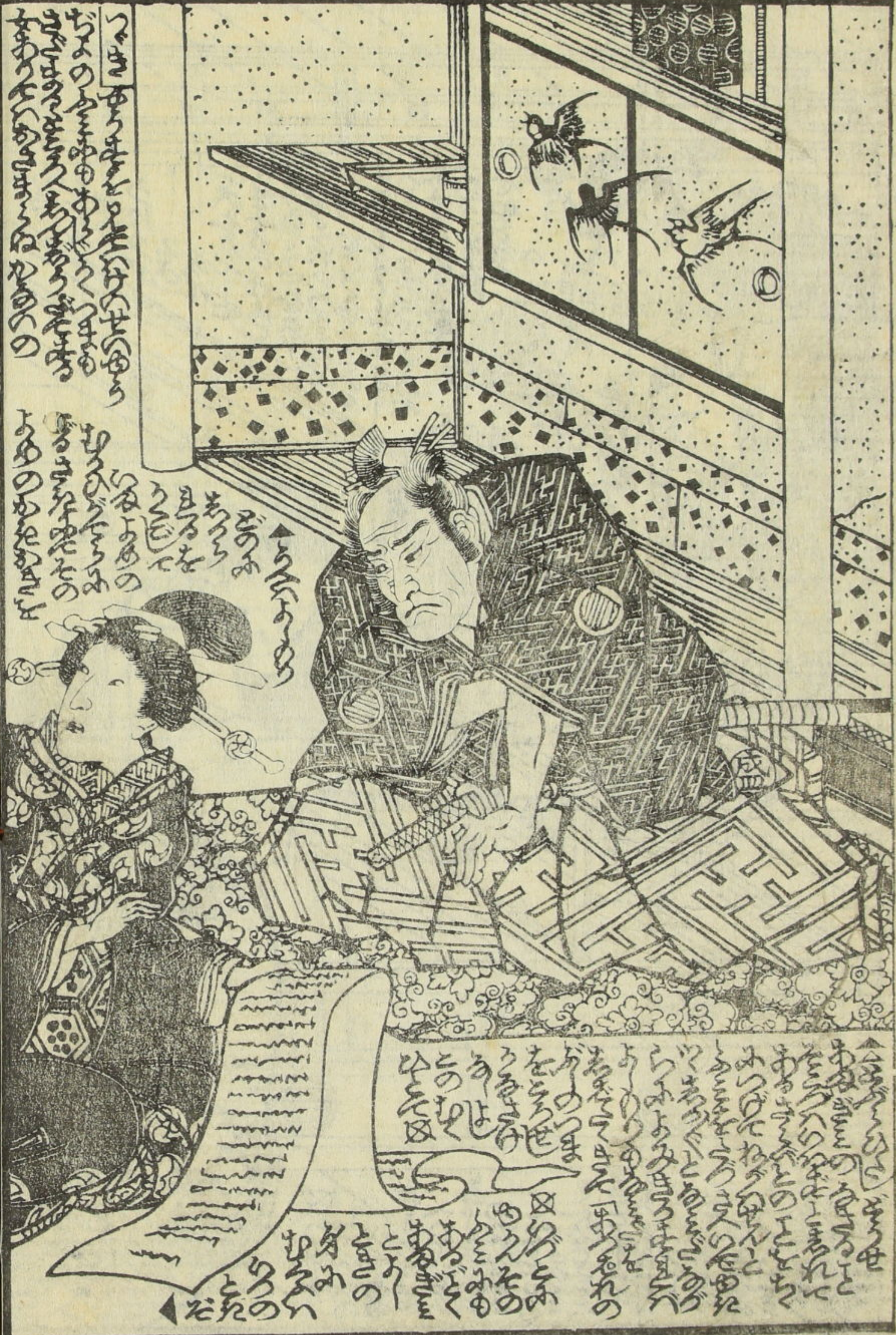
大朝一
大朝一
大朝一

親平
えんて
橋と多
終小四目
小流



Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top of the left page, above the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the bottom of the left page, below the illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top of the right page, above the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the bottom of the right page, below the illustration.

Vertical handwritten text on the right edge of the page, likely a page number or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the top of the right page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the right page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, surrounding the illustration on the left page. The text is arranged in vertical columns, with some characters appearing to be in a different script or dialect.

Handwritten text at the top of the left page, above the main illustration.



Handwritten text on the left margin of the left page.

11

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, surrounding the illustration on the right page. The text is arranged in vertical columns, with some characters appearing to be in a different script or dialect.

Handwritten text at the top of the right page, above the main illustration.



Handwritten text on the right margin of the right page.

12

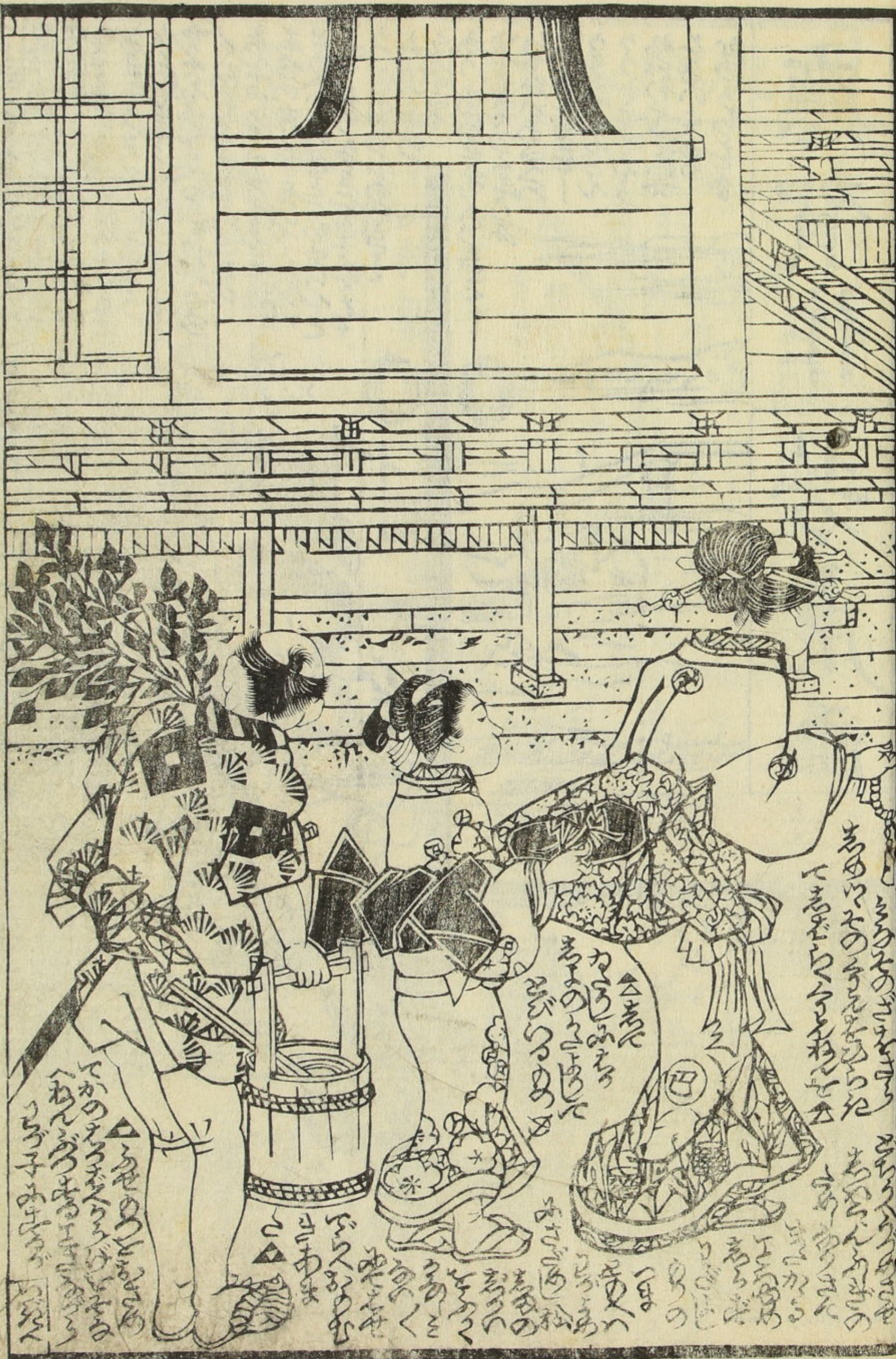


春の日の光を
 浴びては
 心もほぐれ
 身もほぐれ
 春の日の光を
 浴びては
 心もほぐれ
 身もほぐれ
 春の日の光を
 浴びては
 心もほぐれ
 身もほぐれ



春の日の光を
 浴びては
 心もほぐれ
 身もほぐれ
 春の日の光を
 浴びては
 心もほぐれ
 身もほぐれ
 春の日の光を
 浴びては
 心もほぐれ
 身もほぐれ

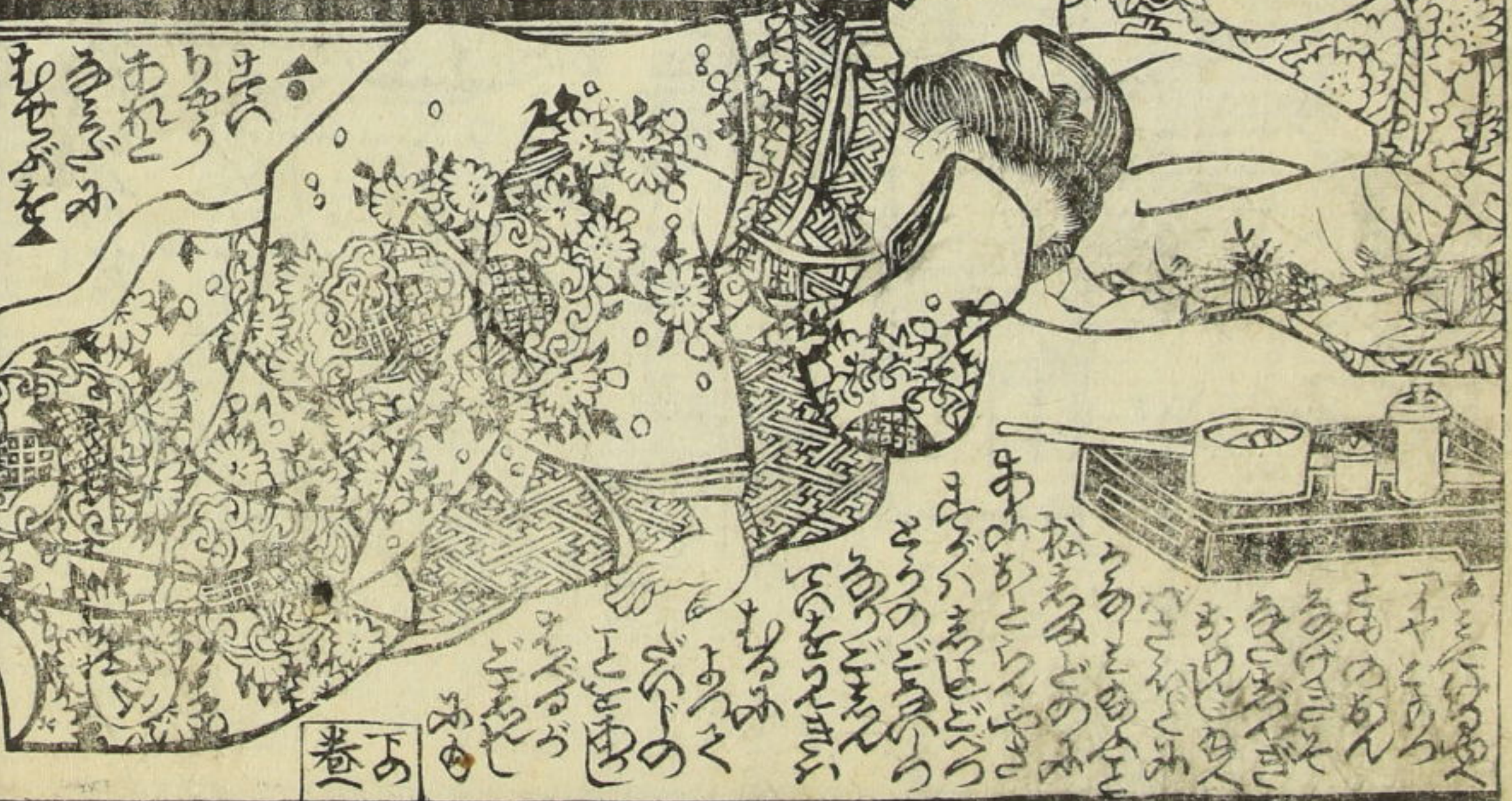
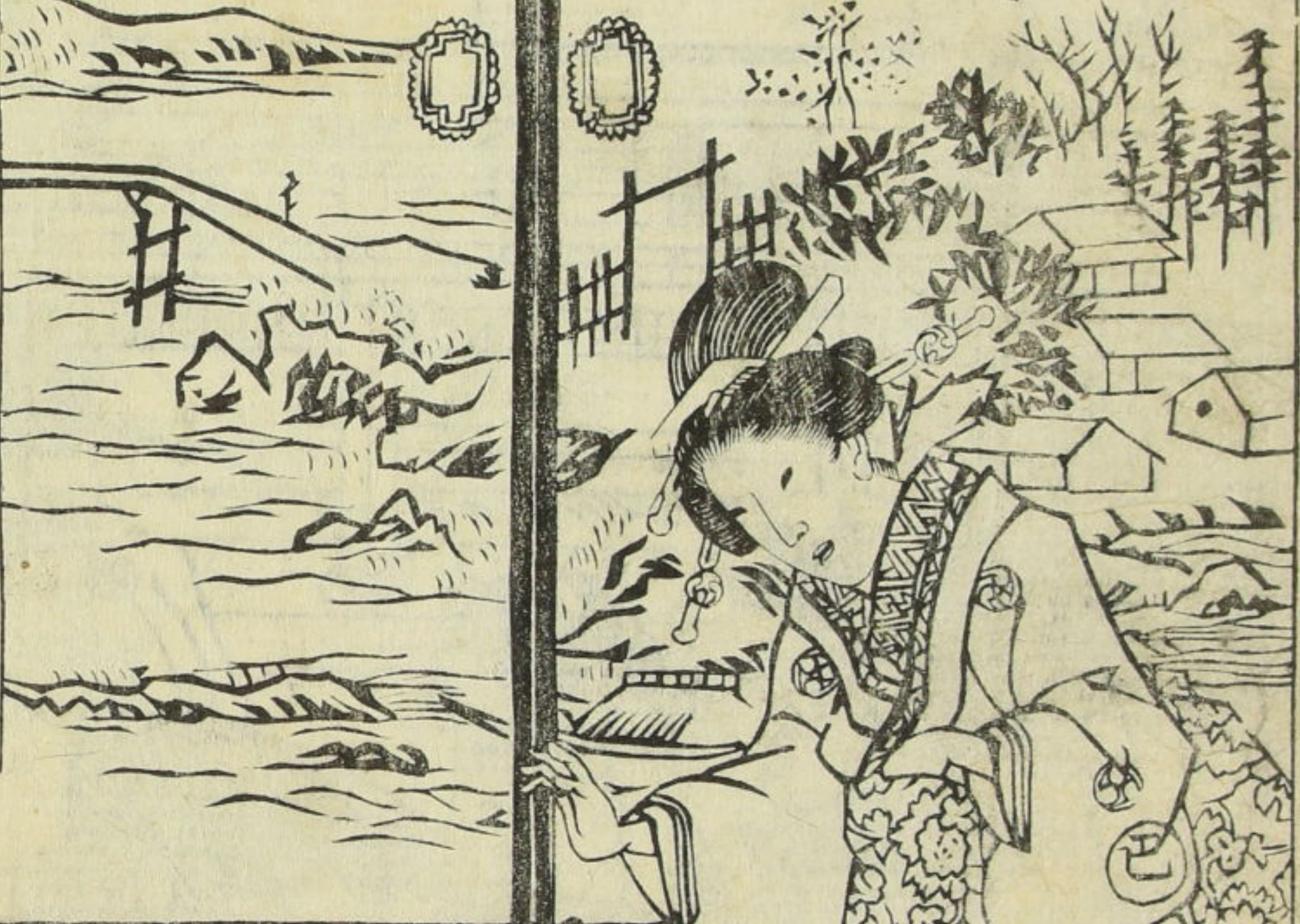
春の日の光を
 浴びては
 心もほぐれ
 身もほぐれ



庚申春錦橋堂新板

應賀作芳虎画

此の虎は、
 虎の威風凛々たる姿を、
 墨と朱で表現し、
 虎の歩み、
 虎の毛の質感、
 虎の爪の鋭さを、
 巧みに描き出し、
 虎の威光が、
 紙面に躍り出すか
 如く、
 見る者の心を
 捉へて、
 虎の雄姿を、
 賞讃せしめ、
 虎の威風凛々たる姿を、
 墨と朱で表現し、
 虎の歩み、
 虎の毛の質感、
 虎の爪の鋭さを、
 巧みに描き出し、
 虎の威光が、
 紙面に躍り出すか
 如く、
 見る者の心を
 捉へて、
 虎の雄姿を、
 賞讃せしめ、



美玉百人一首

中本形全二冊
女用文章入

紅梅百人一首

半紙本全二冊
女用文章入

源氏一猛圖會

全同撰
冊同

雛鶴笹湯壽

紅摺
山東菴京山作
一本
一陽齋豊國画

女用文玉手箱

中本形
全冊
山東菴京山作

庄 錦繪

地本
江戸南傳馬町丁目
山田屋庄次郎

御藥 中固齶散
 大包代百銅
 小包代三銅
 一物の一を、一を、一を、一を、
 一血の一、一を、一を、一を、
 能、一物の一を、一を、一を、
 一血の一、一を、一を、一を、

清淨 白妙
 一包代
 世二銅
 精製
 まこと入用あれは
 白く、あつ、あつ、あつ、

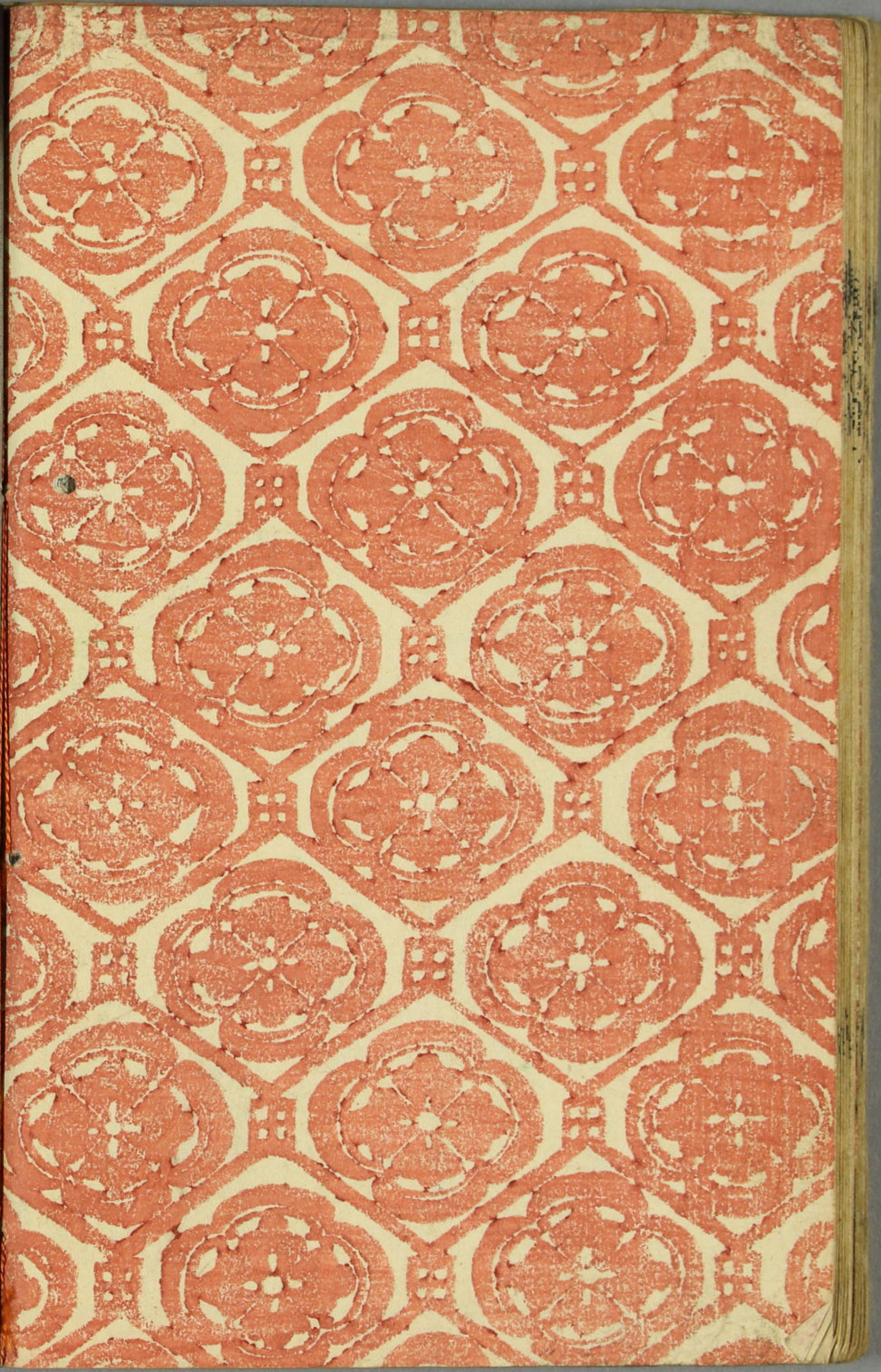
寢小便大奇藥
 一包代
 三百銅
 ねせんの、おしり、おしり、
 の、おしり、おしり、おしり、
 男、おしり、おしり、おしり、

万亭應賀作
一猛齋芳虎画



梓壽堂橋錦

下





長崎
好寅盡

Handwritten text in kuzushiji script, including the title '長崎好寅盡' and various annotations. The text is arranged in columns around the illustration.

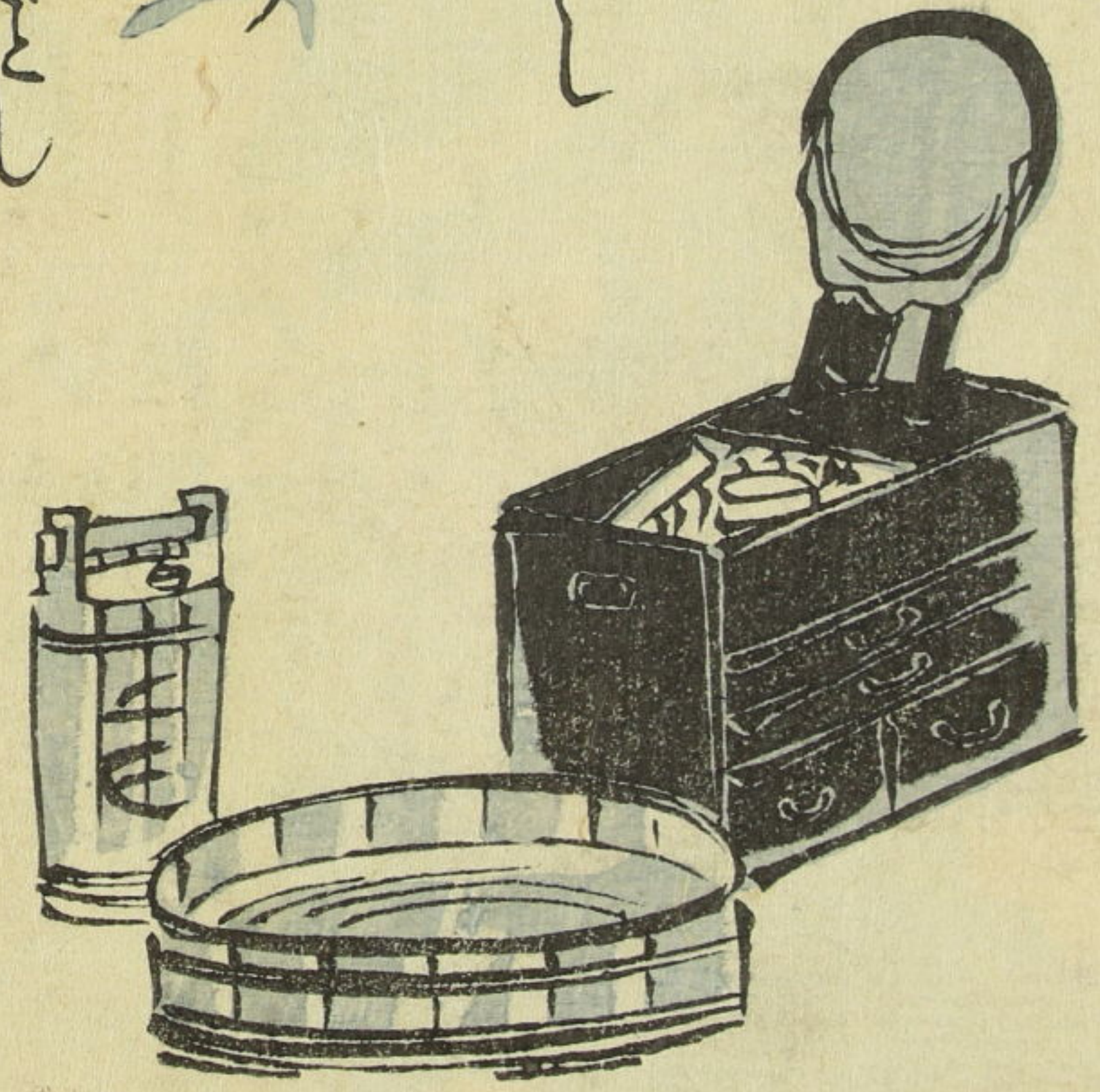
奇蹟記
面飽
鮫肌
愈一様
法

○あきびゆる密跡僧
とらふもの我粉めし
乳めすときあは時

ぬり今朝やういし

○さあをどい新水の
中一酒一鉢入す

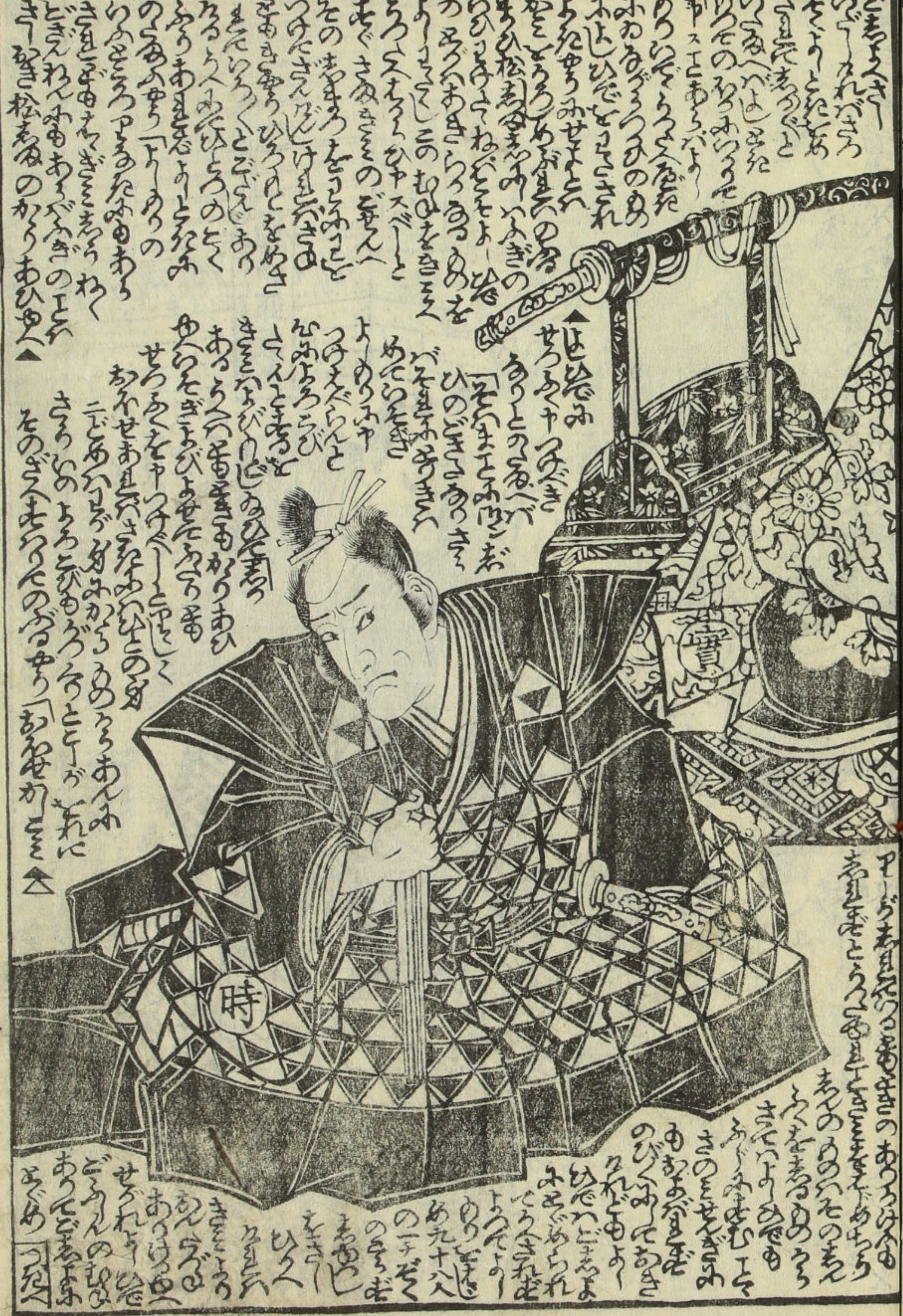
と七日ほど洗ふ
あはれ神のどし



Vertical columns of handwritten Japanese text on the right page, likely a commentary or transcription of the scene.



Vertical columns of handwritten Japanese text on the left page, continuing the commentary or transcription.





この人ハ千代の
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ

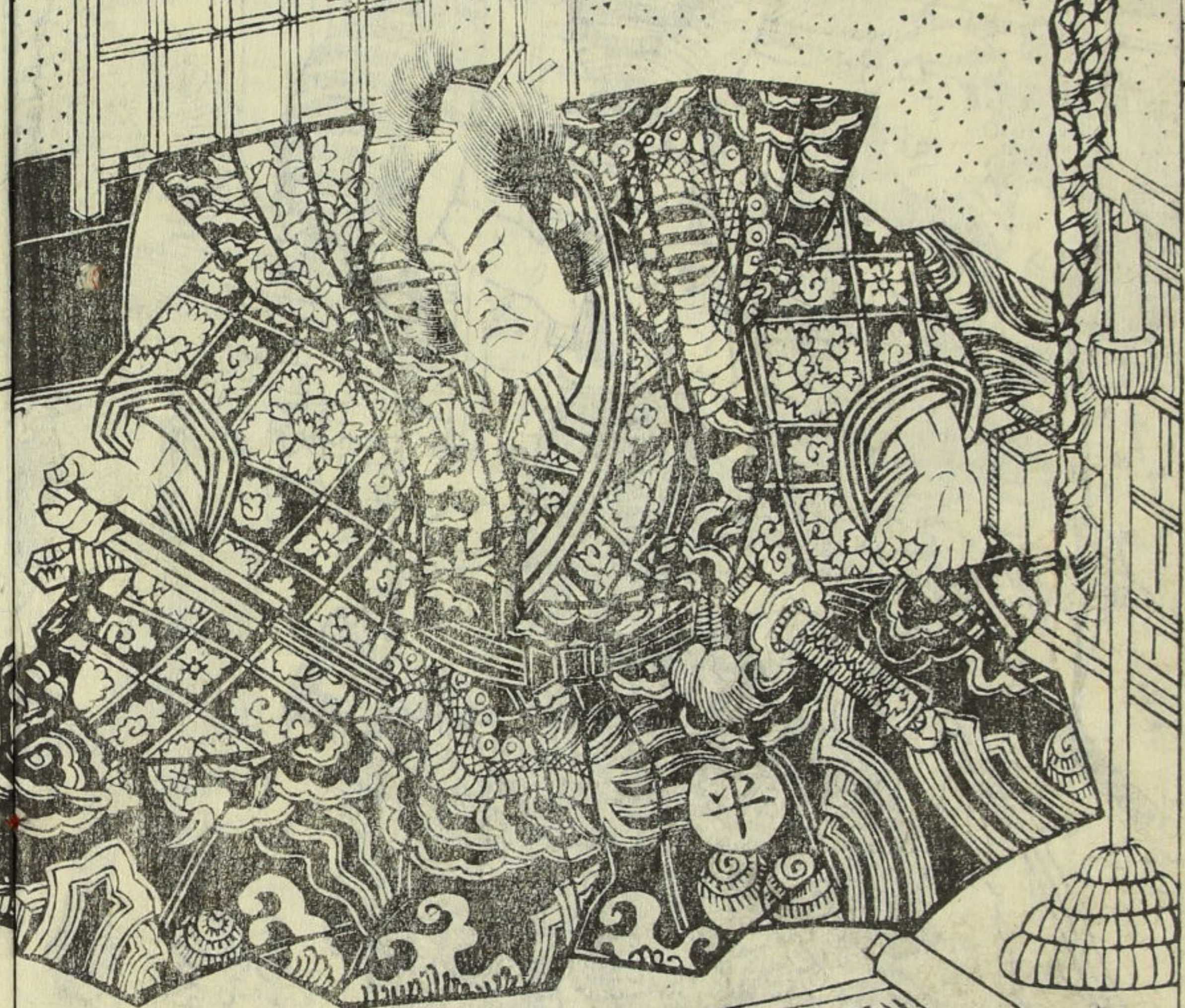
館四郎 秋生 右馬允
この人ハ千代の
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ

○兩人坐席の
吉文の御所
及び一ハ所領を
没收せられて流罪と
なりし事
なりし事
なりし事
なりし事
なりし事
なりし事

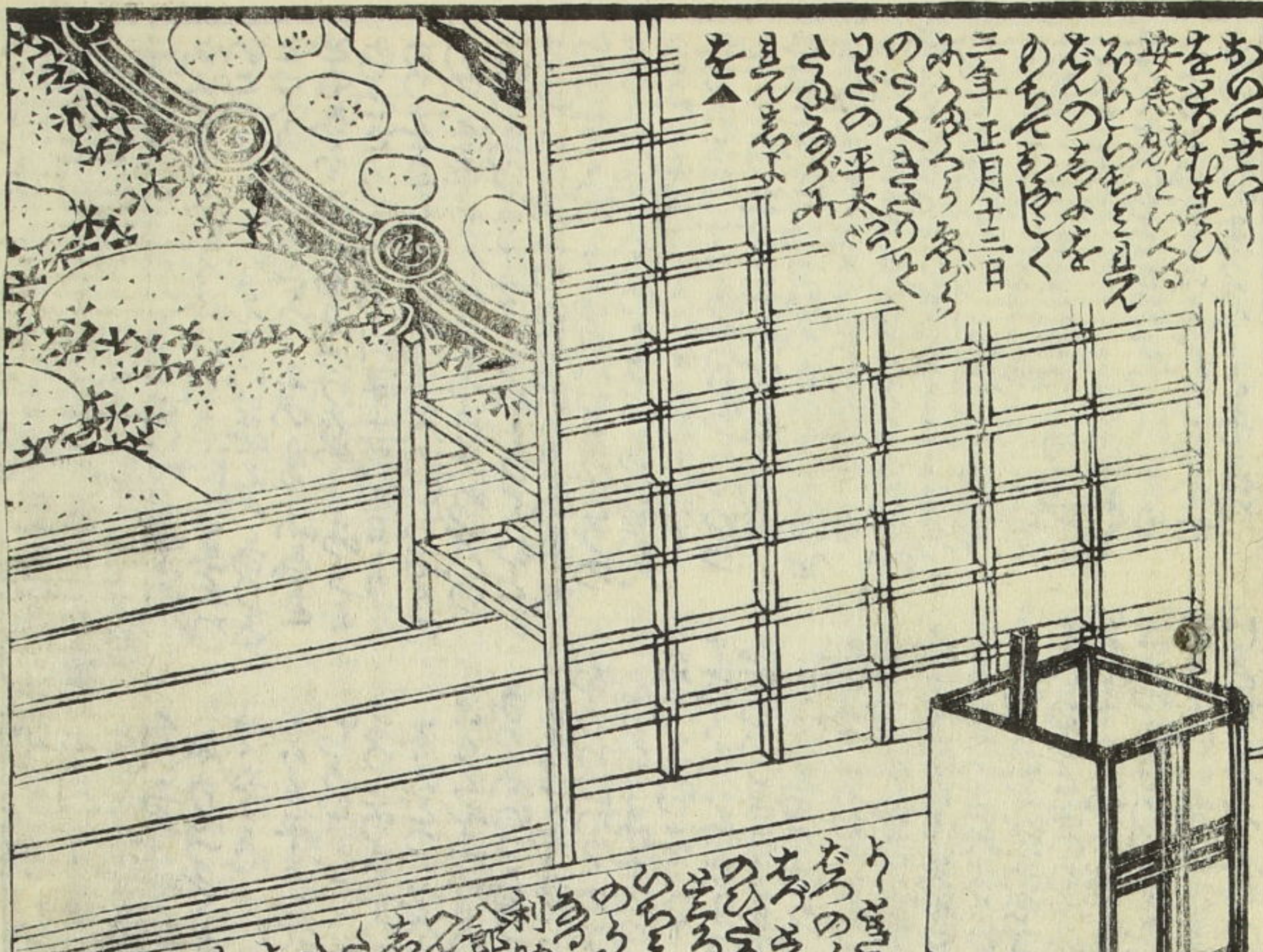
秋生
右馬允
この人ハ千代の
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ
よのよののハ

神ノ
神ノ
神ノ
神ノ
神ノ
神ノ

あつては、
安永の御時
三年正月十三日
みづから、
この平太
目へ、
を▲



徳川幕府
の御時
三年正月十三日
みづから、
この平太
目へ、
を▲



あつては、
安永の御時
三年正月十三日
みづから、
この平太
目へ、
を▲

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or geographical account, covering the upper portion of the right page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the account from the previous page, covering the middle and lower portions of the right page.



Handwritten text in a cursive script, covering the upper portion of the left page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the account from the previous page, covering the middle and lower portions of the left page.



此乃 西國所製之藥也
 其功甚大 凡患此症者
 服之立見奇效 誠濟世之
 良藥也 凡有患此症者
 宜早服之 勿延至危殆
 之時 則後悔莫及矣
 此藥之功用 誠不可思議
 也 凡有患此症者 宜早
 服之 勿延至危殆之時
 則後悔莫及矣 此藥之
 功用 誠不可思議也



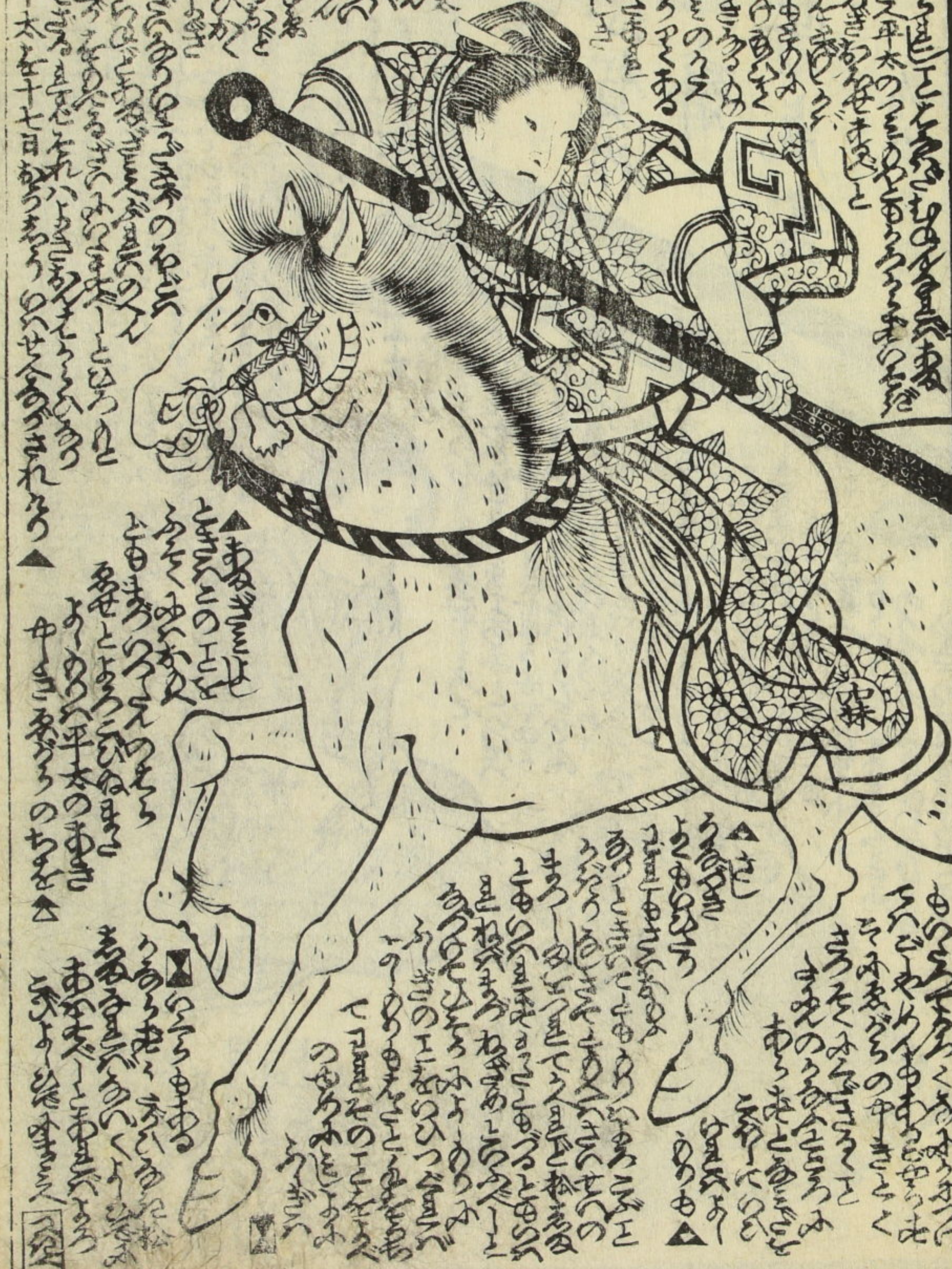
此乃 西國所製之藥也
 其功甚大 凡患此症者
 服之立見奇效 誠濟世之
 良藥也 凡有患此症者
 宜早服之 勿延至危殆
 之時 則後悔莫及矣
 此藥之功用 誠不可思議
 也 凡有患此症者 宜早
 服之 勿延至危殆之時
 則後悔莫及矣 此藥之
 功用 誠不可思議也



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a diary entry, surrounding the illustration of two women.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a diary entry, surrounding the illustration of a woman on a horse.



庚申初春錦橋堂新板目錄



教單女房形氣

十九編 山東菴京山作
二十編 梅蝶樓國貞画

茉莉備手深紫

十九編 金水作
二十編 國貞画

伊賀越歎討物語

九編 万亭應賀作
十編 孟齋好寅画

宮城野 歎討白石咄

全 孟齋作
二冊 好寅画

無病 養生手引草

上 卒公羽京山作
下 立齋廣重画

長壽

全 孟齋作
二冊 好寅画

金屋問屋

山田屋庄次郎

存のちらの内から又女のナマむりひ
又ハキリとあつちのあつちあつち百感をこり
むきり長壽はあつちとあつちとあつち



御所

奉公

東日記

十編

應賀作
國貞画

錦橋

壽梓堂

